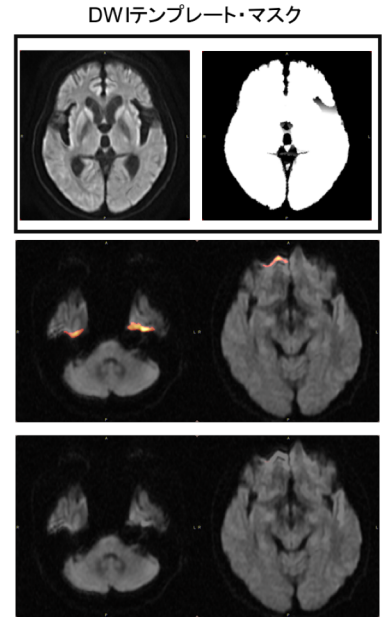
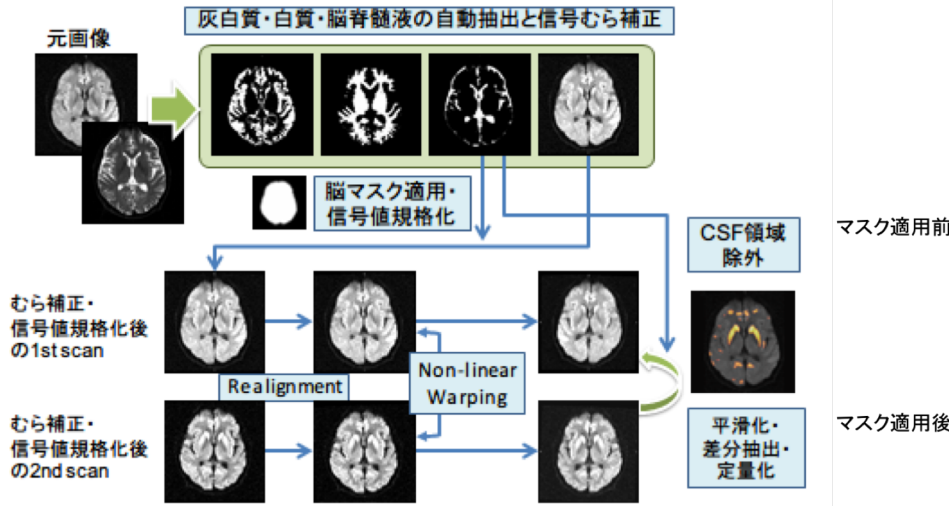


プリオン病早期病変の高精度自動定量化ソフトウェアの開発

研究分担者：岩手医科大学医歯薬総合研究所超高磁場MRI診断・病態研究部門 佐々木真理

拡散異常域定量化 経時解析手順



- 画像統計解析手法によって、プリオン病の早期病変とその体積を正確に自動検出するソフトウェアを開発しました。
- 独自のDWIテンプレートによるアーチファクトの除去、脳マスクや信号値規格化の最適化などにより、高精度な拡散異常域の横断・縦断自動解析が可能となっています。

解説

1. 本研究班でこれまで個別に検討してきた、プリオン病早期病変の拡散異常域の定量化手法の各モジュールを繋ぎ合わせ、単一のソフトウェアを開発しました。
2. 本手法によって、各施設で簡便に早期プリオン病患者の拡散異常域の定量評価を横断的、縦断的に高精度に行うことが可能になりました。
3. 本手法によって、プリオン病の早期病変を簡便に正確かつ客観的に捉えることができ、本症の診断基準を策定・改訂する上で有効な指標となることが予想されます。